

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010080

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	3	母子保健・女性の健康支援の充実	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	予防接種事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	14	国保病院	
事業指標	定期予防接種平均実施率		関係課	#N/A		
事業目標	80%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	有	事業の利用による健康管理の実践	関係例規・法令名	有 予防接種法		
住民協働			関係個別計画名	無		

		全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内容	事業費(千円)	36,482	7,500	7,380	7,320	7,269	7,013
	財源内訳						
実績 事業費	事業費(千円)	13,079	7,575	5,504	0	0	0
	財源内訳						
関連 事項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	北海道後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業特別対策補助金		・四種混合他定期予防接種の実施 被接種者数 延1,274名 平均接種率 86.8%	・四種混合他定期予防接種の実施 被接種者数 延1,200名 平均接種率 108.1%			
	北海道後期高齢者医療広域連合すこやか推進事業補助金		・高齢者肺炎球菌費用助成 被接種者数 208名 接種率 15.2%	・高齢者肺炎球菌 被接種者数 104名 接種率 39.2%			
	国保一般被保険者保健事業負担金		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前記計画からの継続(継続有り)		年度目標値	80%	80%	80%	80%
第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	101%	75%	0%	0%		
	全体達成率	21%	36%	36%	36%		
	事業進捗状況	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆				

事業名	予防接種事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	河原真由美

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	予防接種対象となる町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	定期予防接種実施率								
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行を防止する	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予防接種により予防可能な感染症の発症を防止することができる	① 定期予防接種(前年比)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>86.8%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>108.1%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>124.5%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	86.8%	実績値	108.1%	達成度	124.5%
目標年度	平成26年度										
目標値	86.8%										
実績値	108.1%										
達成度	124.5%										
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果=目的	個人及び地域での感染症の流行を防止し健康を保持できる	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を 行ったか)】	予防接種に関する周知	母子保健事業等で乳幼児及び児童への周知を行った。高齢者肺炎球菌の定期接種化後は個別通知も行った。									
	予防接種実施体制の整備	受診者が安全に予防接種を受けることができるよう、医療機関での個別接種体制及び接種間隔等の誤接種を防ぐ工夫を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	定期予防接種の実施は市町村義務。任意接種であった高齢者肺炎球菌予防接種も10月から定期接種となった。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内で定期接種の感染症集団発生なく、事業は効果的である。実施率の算定については、昨年乳幼児で定期接種となったヒブ、小児肺炎球菌予防接種の対象者による接種回数の変化など法改正に合わせ今後変更予定。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	医療機関への個別接種委託により効率的に事業実施できている。また、周知等も他事業と合わせて行う等接種率向上と事業費削減に寄与できている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	高齢者肺炎球菌は受益者負担がある。乳幼児、児童対象者は経済負担なく疾病予防ができるよう受益者負担なく公平な事業である。各種事業時や広報、町ホームページ等により町民に広く検診実施を周知し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
定期接種が増えたが、接種率は向上しており感染症予防の必要性を伝えることができ、地域における集団感染等も発生しなかった。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後の法律改正や新たな感染症、新型インフルエンザ市町村計画等地域における感染症予防の事業は必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止